



教員名：
大氏 正嗣
Masashi Uji
専門分野：
建築構造デザイン



作品名 : 樹林の家
構造 : 木造平屋建て(基礎S造)
規模 : 延面積: 124.44㎡
用途 : 住宅
制作年 : 2013年8月竣工
発表場所 : 兵庫県淡路市
設計者 : 意匠: 本多友常、構造: 大氏正嗣
設計意図: (以下)
受賞 : 2015年度 JIA優秀建築賞、日本建築学会 2016作品選集

急峻な斜面地における建築設計は、施工困難性や斜面崩壊の危険性を伴うため様々な規制が設けられている。多くの場合において、擁壁により斜面土圧を負担するため相応の大きな基礎が必要とされる。建築構造設計において斜め方向の本設地盤アンカーを用いることが現実的ではなく、強固な基礎により地盤を支えるという形式が主体となるためである。しかしながら、住宅等軽微な建物の場合には過大な基礎を設けることはコスト的に容易なことではない。また、多大な造成工事を行うことも環境維持の観点から熟考されることが望まれる。

今回のケースはコスト的には決して安いものではないが、斜面地における設計手法として一つの方向性を示すことができるのではないかと考えている。